



とづかみほ 議員
戸塚美穂

地方創生

町と住民との関わりは

〔答〕 問題を共有し取り組む

問 人口減少によって懸念される若い人々への負担を、町はどのように推測しているか。

町長 平成72年には、現役世代1・76人で1人の高齢者を支える計算となる。行政経営の効率化を図るなどし、財源確保に努め、現役世代の負担軽減に



大人と一緒に環境整備

問 社会との関わりを配慮する。中心とした教育振興運動の五者の役割に対する見解は。

教育長 大人が変わらなければ子どもも変わらない。みんなを巻き込んでいかなければならない。自然が豊かで設備がいいだけでなく、気持ちの部分で

※五者とは…子ども、親、学校、地域、行政。



リノベーション研修中

※リノベーションまちづくりとは…空間・地域資源を活用し地域経営課題を解決すること。

問 大事。高齢者による子育て支援事業を、プロジェクトにあげる案はなかったか。

企画課長 プロジェクトとしては入っていないが、高齢者が活躍できる環境づくりも考えていきたい。

問 ※リノベーションまちづくり
住民と町が上手くかみ合っていないのではないか。

企画課長 27年度、リノベーションまちづくり基礎調査により、意見交換会や聞き取り調査、

パンフレットの対面配布などを実施した。リノベーションまちづくりの特徴は、民間自立型の事業であり、町として応援しながら一緒に取り組んでいきたい。

「すこやか号」今後のあり方は

【答】町民に親しまれるバスとして運行

問 生活形態の変化に対応した運行経路や形態などの見直しが必要と思われるがどうか。

町長

平成31年度をめぐりにコミュニティバスの見直しを行う予定である。高齢者に配慮した運行を心がけ、今

後も続けて行く。

問 路線の見直し時は交通弱者を考えて行っているか。

企画課長 様々な制約があるが、なるべく考えた路線にしたい。

問 空白地帯を解消するため、乗り合いタクシーなどを改正

に盛り込めないか。

企画課長 住民の声を反映できよう、検討から排除するものではない。



あべみかこ 議員
阿部美佳子

一般質問



大事な足です「すこやか号」

「ペット」迷惑行為の対策は

【答】飼い主の意識向上が重要

問 町ではどのような対応や対策をとっているのか。

町長 日常生活環境に影響を及ぼす行動について、チラシなどによる啓発や個別訪問を行っている。

問 迷い犬などの保護はどこでしているのか。

環境課長 一時預かりという所やボランティアで預かってもらっている。

その際少額であるが町から費用を出している。

問 一時預かりにかかった費用を飼い主に請求してはどうか。

環境課長 負担してもらおうよう考えている。

問 「猫ブーム」であるが、去勢・避妊費用の補助は考えているか。

環境課長 飼い主の責任のもとに行うべきものと考えている。



大切に育ててね